

今年も盛大に、'91全国大会を開催。



'91CMSC全国大会が、本部及び各支部メンバー40名の参加により、8月10日に盛大に開催されました。会場は、昨年に引き続き福島県二本松市の東北サファリパーク・えびすサーキット。クローズドジムカーナ競技会をメインイベントとして、互いに交流を深めた楽しい1日でした。

当日は、朝から出ていた濃い霧も競技開始の頃には消えて、まずは良好のコンディション。外川会長、WRC三菱チームの木全監督に続いては、インドネシアで転倒しながらも2位入賞をはたして帰国したばかりという篠塚選手から、ごあいさつをいただきました。

競技は参加50選手によって、まず4WDクラスから順次スタート。さすがにVR-4のストレート部分での速さには目をみはるものがあり、また全日本クラス

の選手のアグレッシブな走りには、若手のクラブ員もアゼンとして、「これ、本当にジムカーナなの？ ダートじゃないの。」という声も上がったほど。木全監督による名調子の場内アナウンスも、大いに雰囲気を盛り上げてくれました。軽クラスでは、ミニカダンガンの精一杯の走りに、ギャラリーがハラハラしながら声援をおくる場面も。他では見られない、CMSC全国大会ならではのシーンでした。今年は特に女性や家族連れの参加者も多く、幼い我が子に向かって、「お父ちゃんがこれから走ってくるからな。しっかり応援しろよ。」さて、タイムの方は…

第2ヒートに入るとミスコースもぐっと減り、ほとんどの選手がタイムアップをはたしました。気のはやい赤トンボが飛び交うなか、参加者は楽しくてホットな時間をすごしたようです。競技の運営には、

昨年同様に地元CMSC福島のメンバーがあたり、手際よいオフィシャルぶりを披露してくれました。CMSC福島の皆様、ありがとうございました。

競技の後の表彰式では、各クラスおよび支部対抗の結果に応じて、たくさんの賞品を手にした人も。また、木全監督から各選手へのワンポイントアドバイスでは、「ハンドル操作が途中で遅くなるのは、腹筋が弱いから」「あなたの走りなら、リアをややトアアウトに」「あなたのアクセルワークは、若い頃の篠塚に似ている」「パワースライド後半は、フロントもスライドアウトさせて」など、さすがの鋭い指摘に、皆が熱心に耳を傾けました。夜の部は、サファリパーク名物の豪華な牛の丸焼きパーティーで盛り上がり、各メンバーどうし交流を深めました。

各地から、CMSCのメンバーが大集合！



▲CMSC仙台



▲CMSC栃木 ▲CMSC青森



篠塚建次郎氏



ラリーアートのスタッフ



▲CMSC香川



田口雅生氏



▲上よりCMSC島根、群馬、岐阜・愛知
 ▲上よりCMSC岩手、山形、福島、千葉

CMSC埼玉▲



中段左より4WDクラス優勝の加藤一也選手 (CMSC福島)、FFクラス優勝の須田行雄選手 (CMSC福島)、FRクラス優勝の佐々木健太郎選手 (CMSC岐阜)。
下段左よりオープンクラス優勝の田中健一選手 (CMSC青森)、軽クラス優勝の斎藤賢次選手 (CMSC福島)、そしてレディースクラス優勝の山本そのみ選手 (CMSC青森)。

よろしく、CMSC大阪が発足。

CMSC大阪

全国のCMSC各支部の皆さん、こんにちは。そして、初めてお目にかかります。

私たちは、このたび関西地区に初めて発足いたしました。CMSC大阪です。近畿三菱自動車販売株さんのご協力を得て、ようやくスタートいたしました。現在、近畿三菱の社員を中心にメンバーは18名と少人数ですが、積極的な活動を行ってゆく予定です。

当面は参加主体となりますが、メンバーが増えてきましたら、イベントの主催も含め、活動のステップアップをめざしていきます。まだまだ生まれたてのホヤホヤですが、よろしくお願いたします。なお、先日の全国大会には、ごあいさつがたがた参加させていただき、ありがとうございます。大阪としては8名の参加でしたが、全員楽しい思い出になりました。(CMSC大阪 杉本達也)



'91CMSC全国大会クローズドジムカーナ結果

●4WDクラス

1位	加藤一也	福島	1'35"09
2位	小館久	青森	1'36"81
3位	佐藤宏昭	福島	1'37"21
4位	楠田正文	岐阜	1'37"83
5位	杉坂啓一	島根	1'39"04
6位	荒井信介	群馬	1'41"36
7位	嶋田中也	青森	1'42"28
8位	菅野茂	山形	1'42"68
9位	菅野仁司	香川	1'42"99
10位	瀬尾靖弘	福島	1'43"70

●FFクラス

1位	須田行雄	福島	1'34"62
2位	鈴木正考	福島	1'36"13
3位	熊沢祥人	本部	1'39"49
4位	飯塚恒守	群馬	1'39"92
5位	黒沼与一	山形	1'41"22
6位	本間孝一	山形	1'41"81
7位	船津康一	群馬	1'41"89
8位	三枝重光	岐阜	1'42"73
9位	右近忠	千葉	1'43"30
10位	真戸原吉孝	千葉	1'45"92

●FRクラス

1位	佐々木健太郎	岐阜	1'42"25
2位	土屋知宏	福島	1'42"55
3位	福士信之	青森	1'47"08

●軽クラス

1位	斎藤賢次	福島	1'47"34
2位	高橋壮吉	群馬	1'52"28
3位	山口利久	群馬	1'54"74

●支部対抗(各支部高得点3名のポイント合計)

1位	CMSC福島	55ポイント
2位	CMSC青森	35ポイント
3位	CMSC本部	24.5ポイント
4位	CMSC群馬	23.5ポイント
5位	CMSC山形	17ポイント
6位	CMSC岐阜	13ポイント
7位	CMSC千葉	10ポイント
8位	CMSC島根	8ポイント
9位	CMSC埼玉	6ポイント
10位	CMSC大阪	5ポイント
11位	CMSC香川	2ポイント

●オープンクラス

1位	田中健一	青森	1'32"88
2位	対馬雅人	青森	1'37"16

●レディースクラス

1位	山本そのみ	青森	1'39"46
2位	二木貴代美	本部	1'43"88
3位	渡辺康子	埼玉	2'04"80

協賛スポンサー (アイウエオ順)

R.J.レイノルズMCタバコ株(キャメル) IPF株 青木科学研究所(ルプローレン) 株旭通信社 株アライヘルメット (有)アンフィニ(木村謙治様) 株伊勢丹 株ウイングス・コーポレーション(GAB) 株エスエス・リミテッド(シビエ) エンパイア自動車株 オーツタイヤ株 柏崎株(ミツワモデル) カヤバ工業株 株キャロッセ 株サミット シスコ・ジャパン株(STP) 住友ゴム工業株 株タスカ・エンジニアリング 株テスス&サービス 株東京映像社 東洋紙業株 日本特殊陶業株(NGK) 株阪急交通社 株ブリヂストン ポシュロム・ジャパン株(レイバン) ミシュラン・オカモト販売株 横浜ゴム株 株ラリーアート

表彰台をめざして、体制づくりを。

CMSC埼玉

筑波9時間耐久レース

8月10日(土)/筑波サーキット

8月10日午後、筑波9時間耐久レースの公式予選開始、2クラスがコースイン。シグナルが赤から青に変わり、ピットロードより競技車が1コーナーめがけて突進してゆく。われらが34号車も続いて1コーナーに進入。クリッピングをとり、アウトにはらんでそのままヘアピンへとアクセル全開！ところがその時、エンジンがストップ。スローダウンしてしばらくするとエンジンは目を覚まし、ふたたび吹け上がってゆく。練習走行時に時々現れていたガス欠症状が、再び発生してしまいました。急いでピットインするも、給油などの作業が禁止されていて直らない。自然に直るのを期待して再度コースインする

が、ついに正常に戻らず、あえなく予選落ちとなってしまいました。

今年、僕はラリーとレースの二足のわらじをはいていて、トライデントレーシングチームとしてレースに出場しています。富士6耐、筑波9耐と各2台ずつ、トライデントカラーに塗られたミラーージュをエントリーさせましたが、チームが発足して間もないため、マイナートラブルが多発して良い結果が出ません。今後しっかりと体制を作って、表彰台のてっぺん目指して行きたいと思っています。もちろん、ラリーのほうもがんばります。

(CMSC埼玉 長沢太郎)



左から2番目が長沢太郎選手

総数175台参加、女性も活躍。

CMSC群馬

'91CMSCトライアル in 那須

7月28日(日)/丸和オートランド那須

すっきりと晴れ上がった空の下、7月28日に丸和オートランド那須にて'91CMSCトライアルin那須が開催されました。当日は、CMSC設立以来はじめての晴天での大会。それに加えて、参加台数175台という大量エントリー。炎天下で、最後まで体力がもつか、太陽が出ているうちに競技を終了できるのか、ちょっぴり不安を抱きながらの開会式でした。

決勝コースはオーソドックスな右回り。コースクリアは、全日本ラリープリントドライバーであり、CMSC群馬の会長でもある荒井伸介が努めました。そしてこのタイムを目標に、タイムトライアルが行われました。

エントリー中には、今日はじめて丸和を走るとい



う人や、新潟から駆けつけてくれた人、ジュニアシリーズの常連さん、C地区戦をけてエントリーしてくれた人など、主催者にとってはうれしいかぎりです。特にがんばってくれているのが、女性ドライバーです。うれしいことに、F&Lクラスで優勝し、改造車クラスにもエントリーしていただきました。これからも、もっともっとエントリーしてください。毎



乾浩行選手は三菱賞の1位

年恒例の三菱賞は、地元群馬の乾 浩行選手に決定。来年も、ぜひお願いします。

全員汗だくになりながら、大きなトラブルもなく、無事に競技を終了する事ができました。

(CMSC群馬 丸山 麻紀子)

林道コースで、地元勢が活躍。

CMSC帯広

コルトダートトライアル

8月11日(日)

今年で7回目を迎えたコルトダートトライアルも、コースレイアウトのおもしろさと賞品の豊富さから、年々エントリー台数も増えてきました。ノンタイトル地方競技にもかかわらず、道チャンシリーズの上位者や全日本のAIIIクラスで活躍している宝田選手など、多くの有力選手が参加しました。

コースレイアウトは、アップダウンが多くライン取りの難しい林道のハイスピード区間と、パイロンスラロームを使ったテクニカルコースの複合。いつもは広いコースに慣れているエントリーも、ラリーのSS区間のような林道コースに手を焼いていました。

A Iクラスでは、全日本戦でも有名な原選手が、A IIを上回る好タイムで順当勝ち。A IIクラスは、この



瀬川智幸選手によるエキジビジョン走行

コースを熟知している地元の西島選手が、うれしい初優勝。注目のAIIIクラスでは、誰もが優勝を疑わなかった、CMSC札幌の宝田ギャランがギャップの多さに苦戦し、熱い走りを見せながらも、まさかの4位と低迷。候補No.2の片岡ギャランは、「今日は勝つ！」のコメントを残してスタートするも、スタート直後のギャップに飛ばされ大ジャンプ。コースアウトは逃れたものの、この時のロスタイムが最後までひび



AIII2位の片岡選手は三菱賞1位

いて2位となってしまいました。優勝したのは、全日本ラリーにもAクラスでスポット参加している村上選手のバルサー。各選手が手を焼いた林道コースを持ち前のラリー走法で豪快に攻め、ベストラップをたたきだしました。

オートクロス車によるエキジビジョン走行では、名車旧ランターボも出場し、ギャラリーのかっさいをあびていました。(CMSC帯広 青沼達也)

意気込み充分で、3耐を完走。

CMSC栃木

筑波9時間耐久レース

8月10日/筑波サーキット

筑波9時間耐久レースのギャランVR-4、優勝おめでとうございます。実は、同じ9耐の日に、もう1台のギャランが出場していたのです。これぞ、知る人ぞ知る2クラスのギャランAMG(南栃木三菱CMSCギャラン)。意気込みは充分ながら、9耐落ちの3耐に出場し、無事完走できました。

毎年のことですが、マシン造りからすでに耐久レースは始まっており、ベース車両を待つこと、2カ月。到着したのは、なんとレースの10日前という有様でした。時間はまったくないにもかかわらず、チーム全体が一体となって連日連夜の作業にあたり、1週間で完成。車検も問題なく合格しました。とはいつても、計算外の重量に悩まされ、セッティングも決まらないまま予選がスタート。1秒の壁の厚さを思い知らされました。

今回のレースの一連を反省材料に、チームのいっ

そうの連帯を図り、NAギャランのポテンシャルの高さをフルに生かして次回に挑みたいと思います。CMSC栃木をご支援いただいた各社、御一堂様、誠にありがとうございました。(CMSC栃木 郡司義光)



CMSC勢、AIIIクラスで1・3位。

CMSC香川

'91CMSCアストロトリアル

6月16日(日)

四国ダートトリアル選手権の第6戦として、「'91CMSCアストロトリアル」を6月16日に開催しました。四国のダートラ人口が元に戻りつつある中、総参加台数74台で競技が行われました。

CMSCの香川のダートラは雨、というのが定説になっていますが、今回は、前日の雨がうそのように快晴になりました。ところが、競技が始まってゼッケン4番が走り終えたころ、光電管の調子がわるく

なり、原因不明のため急遽ほかのクラブの光電管を借りて走り、1時間のタイムロスでゼッケン1番から再スタート。

競技の方は、前日の雨で泥濘に足をとられ、コースアウトやスタック車が続出。当クラブ員は手慣れたもので、リタイヤ車を素早く救出し、大きなタイムロスをだすことはありませんでした。そして午後4時には、予定より少し遅れて競技終了となりました。

成績は、AIIIクラスでギャランの高竹選手(CMSC香川)が優勝。2位は徳島の浜田選手、3位には近藤選

手(CMSC香川)が入りました。

当クラブの次の主催は、8月31日～9月1日の'91CMSCダイヤスターラリーです。それでは、次回のレポートをお楽しみに！(CMSC香川 白井 修)



AIIIで3位の近藤選手(CMSC香川)



高竹選手(CMSC香川)はAIII優勝

宝田芳浩選手(CMSC札幌)2戦連続2位!!

CMSC札幌

'91ラリースプリント in TAZAWA

8月4日/田沢湖ミナミコースランドサーキット

各地の大会でCMSC勢の活躍が続いていますが、8月4日に開催された全日本ダートトリアル選手権5戦「'91 RALLY SPRINT IN TAZAWA」で、ギャランを駆るCMSC札幌の宝田芳浩選手が、AIIIクラス2位に入りました。当日は朝方まで雨が降り続いたにもかかわらず、多くのギャラリーがつめかけ、各選手も後半戦のポイント争いを意識した走り。ギャップの多いコースで転倒やパンクも見られるなか、2本目にかけた宝田選手が見事2位にジャンプアッ

プしました。

なお、同選手は続く第6戦の「昭和電機杯'91 RALLY SPRINT IN SUZUKA」でもクラス2位と

安定した実力を発揮しており、後半戦の活躍がますます期待されます。



雨の中を、各車が熱い走り。

CMSC島根

日本海ダートトリアルチャンピオンシリーズ

8月10日/比田スポーツランド山陰

日本海ダートトリアルチャンピオンシリーズ第3戦として、8月10日に比田スポーツランド山陰で主催しました。エントリーは55台と、ちょっと少なめ。しかし、このコースは豪快な走りが楽しめるとあって、ドライバーを熱くさせてくれます。

当日は、早朝6時30分ころからどしゃぶりの雨！開催があやぶまれましたが、いざ始めてみると転倒あり、派手なコースアウトありでギャラリーを大

いに楽しませてくれました。成績の方は、Aクラスこそ全日本選手の奈良井バルサーにとられたものの、2位を角、3位は高橋、4位に波多野と、ギャラン

勢が入り、CDクラスでは西村選手がみごと優勝。また、A Iクラスでは竹内選手、中山選手が3・4位と健闘しました。(CMSC島根 国谷益雄)



フレッシュマン多数、総勢110台参加。

CMSC栃木

'91栃木ジムカーナ第4戦

7月14日/日光スピードパーク

7月14日、日光スピードパークを会場に、通算4回目のジムカーナを主催しました。栃木県では、ダートトライアルのシリーズ戦がなくなった一方で、ジムカーナの人気が急上昇中で、年間8戦程度のシリーズ戦が予定されています。各戦とも100台を越す参加者があり、第4戦にあたる今回も、ミラージュやギャランを含めて110台のエントリーがありました。

ジムカーナの参加者は、ダートトライアルなどの他の競技からの移籍組もいますが、ほとんどはニューフェイスで、会場で受け付けをしてもフレッシュ

しさを感じました。参加車両は、ナンバー付のA、Bクラスが圧倒的ですが、改造車クラスも年々レベルアップし、走りにも本格的なものが見られるようになってきました。



競技の運営面は、若手中心に組織しました。今年は、特にオフィシャルの訓練として、県内の他のクラブから参加の要請があり、数名がそれぞれの持ち場を体験していました。



クローズド競技で、ステップアップジムカーナ。

CMSC仙台

ステップUPジムカーナ in SUGO

7月14日/スポーツランド菅生

当日は朝から晴れあがり、絶好のジムカーナ日和になりました。スポーツランド菅生のカートコースには、愛車にゼッケンを張りながら、今か今かとスタートを待つエントラントが総勢65台。GTOをベースカーに、10台ずつの慣熟歩行の後、いよいよ1トライ目のスタートです。クローズド競技とあってエントリー車両もさまざまで、走りもさまざま。パイロントッチをするエントラントが続出…。力を入れすぎて、芝刈りをする車両も見受けられました。

参加者の中にはシリーズ戦に出ている人も何人かいて、初めて走る人たちは、そのラインどりや走りを見て、2トライ目にはパイロントッチやミスコースも少なくなりました。これぞ本当の「ステップUP

ジムカーナ」。クラブの名誉会長でもある高田社長(仙台三菱販売)も、「ぜひ、またやりたい。自分で走りたい。」との、強い意気込み。参加していただいたエントラントの方々からも、ぜひまた次回をという声をいただき、スタッフ一同、感激と新たな期待で胸をいっぱいにしました。



次は、10月27日(日)に第3回のダートラを主催します。大勢のエントラントをお待ちしています。

(CMSC仙台 初田昌子)



仙台三菱の高田社長より賞品授与

初登場のCMSC大阪、健闘。

1～5月のトップの山形が、引き続き期間トップとなり、依然として1位を走っています。これは、特にスラローム部門の選手層の厚さがプラスしているようす。2位の香川は変わらず。札幌が群馬をわ

ずかにかわして3位へとアップしました。注目は、CMSC大阪。発足したばかりながら140点をあげ、健闘しています。8月のCMSC全国大会でも、元気な走りを披露。メンバーがもっと増えれば、チャレン

ジカップの台風の目となることも予想されます。

●クラブ別獲得ポイント

	1～5月	6～8月	9～11月	12月	合計
帯広	102	14			116
札幌	301	212			513
青森	286	86			372
岩手	8	70			78
山形	512	461			973
仙台	3	0			3
福島	0	0			0
栃木	22	38			60
群馬	325	179			504
埼玉	128	90			218
千葉	0	0			0
岐阜	230	144			374
愛知	96	20			116
大阪	-	140			140
島根	142	144			286
香川	378	346			724

●ラリー・ドライバー部門

渡辺俊昭	山形	98
小林正夫	群馬	86
梶沢宏之	青森	55
上原力	埼玉	52
富士文秀	青森	46
佐々木透	愛知	40
千田俊二	札幌	36
工藤長実	岩手	36
野村芳久	札幌	32
大西康弘	青森	32
館山正嗣	青森	24

●ラリー・ナビゲーター部門

金子誠司	群馬	86
今野泰正	山形	74
石田隆雄	青森	55
安田弘美	青森	46
瀬々徹	埼玉	37
浅沼高典	岩手	36
岩崎政良	埼玉	32
小出辰彦	愛知	26
高柳満	愛知	24
本田辰彦	岐阜	21
永沢裕之	青森	18

●スラローム部門

高竹優之	香川	330
櫛田正文	岐阜	246
白井修	香川	244
宝田芳浩	札幌	226
鈴木功敏	山形	210
荒井信介	群馬	210
千田俊二	札幌	168
菅野茂	山形	138
杉本達也	大阪	124
近藤健司	香川	122
国谷益男	島根	102

●レース部門

小川日出生	山形	194
鈴木一彦	山形	48
東江誠	山形	24
瀬在仁志	埼玉	16
並木松雄	栃木	15
川口法行	栃木	15
平井みつよ	埼玉	12
吉沼昭彦	栃木	4
本郷勝義	仙台	2

●ポイントのつけ方

	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位	11位以下	リタイア
ポイント	40	30	24	20	16	12	10	8	6	4	2	0
B =	20	15	12	10	8	6	5	4	3	2	1	0

リタイアには予選不通過も含む

A = ラリー………全日本選手権、JMRC地区最上級シリーズ
スラローム………全日本スピード行事選手権、地方スピード行事選手権、JMRCシリーズ
レース………全日本選手権、地方選手権、ミラージュカップ
それ以外の競技会